

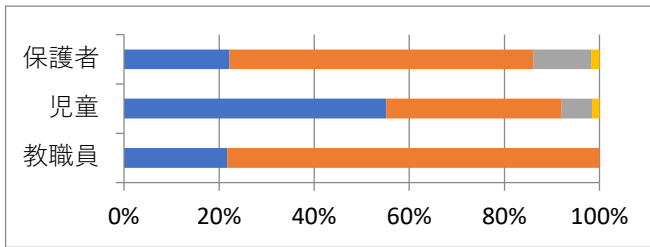
令和元年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

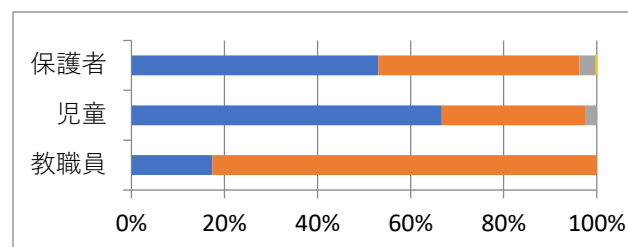
1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていると思いますか。



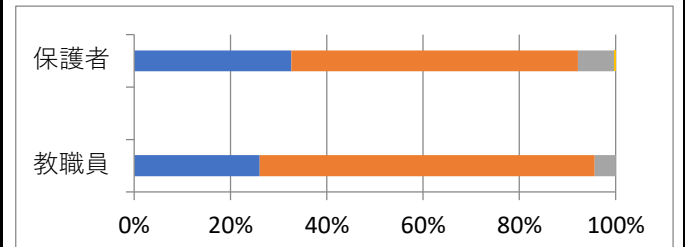
2 友達への思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。



3 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

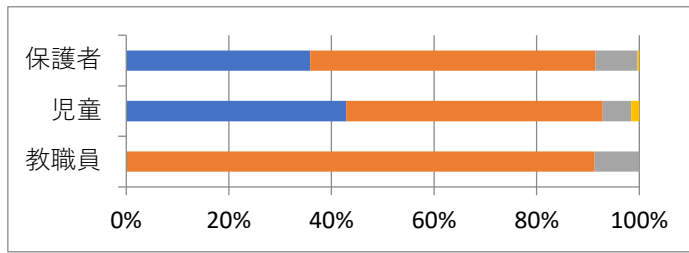


【学校から】○保護者や地域の方々には、学校だよりやホームページ、PTA総会や学級懇談会等を通じて、本校の教育方針や目標をお伝えをするとともに、授業参観等で道徳の授業を見ていただくなど、豊かな心を育む教育の取組についてお伝えしてきた。そのため、保護者、児童、教職員ともに「4」「3」の割合が昨年同様8割を超えている。これからもわかりやすく伝えていくよう工夫していきたい。しかし、一人一人の児童生徒の尊重における教職員の「4」の割合が10ポイント以上下がっている。職員それぞれの思いを共有しあい、指導や対応を行っていききたい。

②確かな学力を育む教育の推進

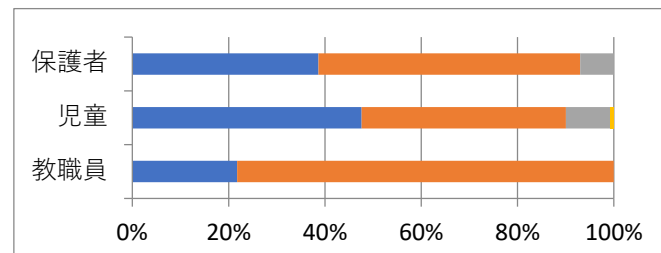
4 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。



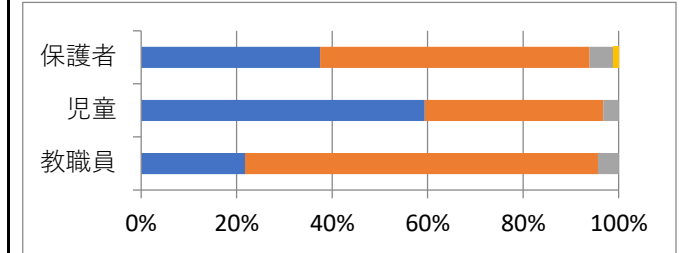
5 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



6 ICT活用

先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。

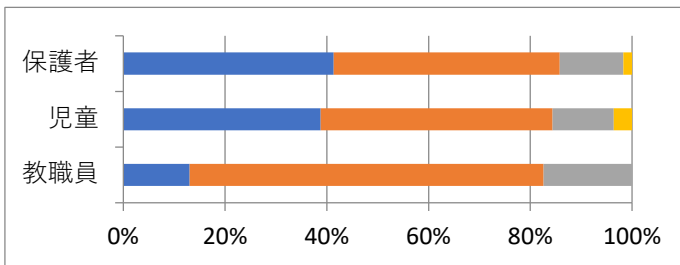


【学校から】○各項目において「4」「3」の割合が8割をこえている。その中でも、ICT活用については、保護者の「4」「3」を占める割合が昨年度よりも15ポイント近く上がっている。タブレットが導入され、どの学級においても活用が進んでいる。その反面、教職員のポイントは多少下がっている。これは新しい機器の導入について、現在ICT活用研修も急ピッチで行われている。しかし、教職員の習得状況は個人差があるため、その差が数値として表れていると思われる。ICT推進リーダーを中心に、さらに研修の充実を図っていく。

③ 健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり

子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。



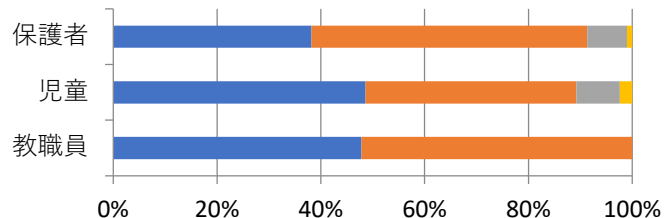
【学校から】○保護者、児童ともに「4」は40ポイントを超えているが、教職員においては「4」の割合は昨年度よりもあがっているものの、20ポイントをきり意識の開きがある。保健だよりや通信等を通して、基本的な生活習慣について意識を高めていきたい。

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

②特別支援教育の推進

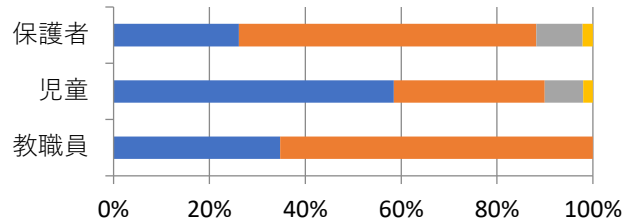
8 児童生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



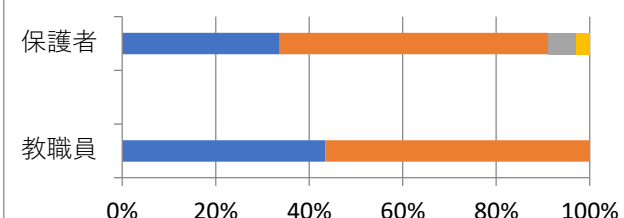
9 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。



10 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



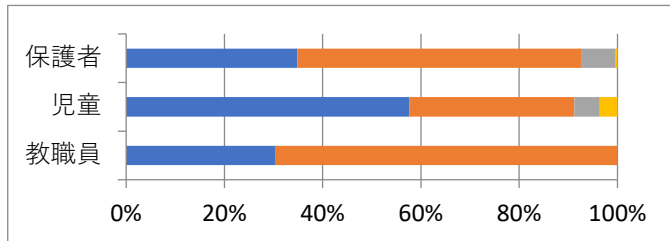
【学校から】○きずなアンケートや教育相談をはじめ、心のサポート相談員やスクールカウンセラー等の活用を行い、児童の様子を多面的に捉え、職員間での共通理解を図り取り組んできた。しかし、児童生徒理解の項目については児童、保護者ともに「1」への回答もあり、十分に児童や保護者の声を聴くことができていないと言えない。これを真摯に受け止め、さらに誠実にそして丁寧な対応を行っていく。○いじめや問題への対応について「4」「3」を占める割合が80ポイントを超え、特にいじめ問題への対応について、保護者の回答が昨年度よりも10ポイント近く上がっている。しかし、不十分だと感じている人も存在する。チームでそして、迅速かつ適切な初期対応を行っていく。

①子どもたちの身近な安全対策の充実

②最適な学習環境の整備

11 安全と事故防止

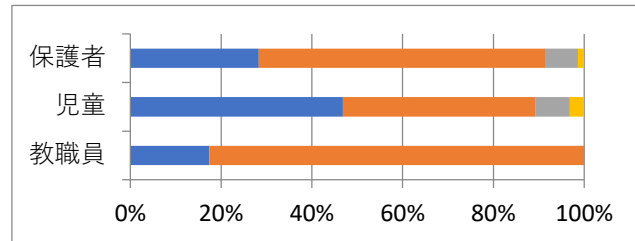
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。



【学校から】○保護者、児童、教職員それぞれ「4」「3」の割合が80ポイントを超えている。緊急時児童引き渡し訓練等ではタブレットを使用しより効率的に現場状況や連絡等を行うことができた。今後もICT機器の活用を充実させていく。

12 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

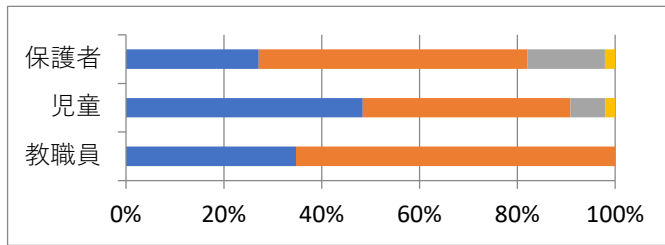


【学校から】○毎月の安全点検をはじめ、日頃より学校内外の状況を点検し、迅速に対応している。敷地内には樹齢の長い樹木がかなり点在している。そのため、倒木の危険性があるものについては、伐採等を迅速に行っている。

③家庭・地域社会との連携強化

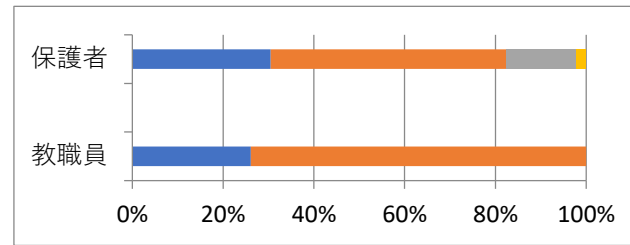
13 教育方針・目標の理解

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



14 家庭や地域との連携協力

d学校は、「ありがとう」を言える感謝の心を持った児童の育成に取り組んでいると思いますか。

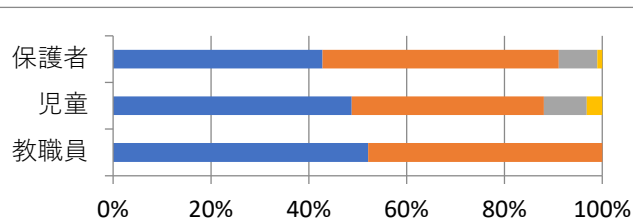


【学校から】OPTA総会や保護者説明会や学校だより、ホームページ等を通じて機会を捉え学校の経営方針をお伝えしてきた。さらに、授業参観・学級懇談会、学習発表会をはじめ、音楽集会の保護者への開催案内をし、児童の様子を保護者や地域の方々により多くお伝えすることができた。しかし、保護者には「そうは思わない」の回答が数ポイントではあるが存在している。今後はより丁寧にそしてわかりやすく情報を伝えていく。

⑧本校の教育

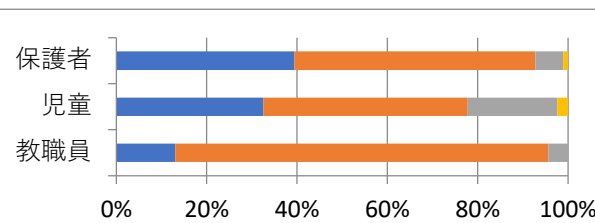
15 1

d学校は、「ありがとう」を言える感謝の心を持った児童の育成に取り組んでいると思いますか。



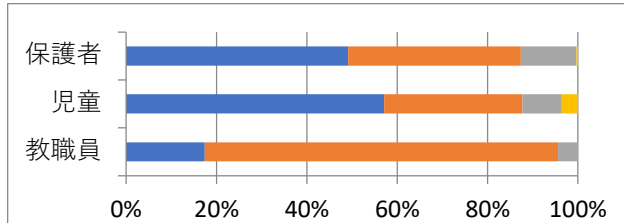
16 2

d学校は、授業の中で、友達の意見を聞き、自分の思いや考えを言える児童の育成に取り組んでいると思いますか。



17 3

d子どもは、進んで体を動かし、外で運動していると思いますか。



【学校から】○教職員の回答については「4」「3」のポイントが100ポイントを示すとおり、「ありがとう」を伝え合う人づくり「ありがとう」が響き合う学校づくりを目指して、教職員一人一人が十分に認識し、あらゆる教育活動に取り組んできた。知の教育の項目についても今年度はICT機器の活用について積極的に取り組み、研究目標として今年度は「主体的対話的な授業」づくりを意識し授業力向上を目指してきたため、教職員の回答については成果として数値にあらわれている。体の教育については、進んで運動しているかの問いに対して、昨年度に比べ児童に「1」の回答が若干増えている。体を動かすことによる身体的精神的な効果について、それぞれの発達段階に応じて伝えていくとともに、縦割り班活動等を活用し様々な運動経験につなげていく。

来年度の具体的な取り組みについて

- 学校経営方針等について、PTA総会や役員会、学校だよりやホームページ等、さらに児童の変容等を含めてより丁寧に伝えていく。
- 学校と地域との協働体制をより密接に築き、地域の教育力の向上、地域に開かれた教育課程を充実させるため、学校支援コーディネーターの活動を活性化させていく。
- PTAや地域の諸団体と連携しながら、教育課程の改善を図り、教育効果を上げる。
- 交通安全指導の徹底とともに、不審者事案情報等について、安心安全メール等でのより迅速的確な情報提供を行っていく。
- 地震避難訓練の在り方について、より実践的であり、あらゆる場面を想定し、自ら考えて行動することができるよう避難訓練の回数、時間帯、方法等について工夫を行う。
- 19年度全国学力テストより、国語においては、自分の考えを簡潔にまとめて書くこと、算数においては、複数のデータを読み取り、筋道を立てその経過を記述すること等に正答率が振るわなかった。日々の授業の中で、自分の考えをまとめたり、論理的に思考し表現したりする場面を多く設けた授業展開をする。
- 体力テストの結果より、ボール投げ、反復跳びが市の基準よりも下回っている。授業改善による運動量の確保や、体育委員会を中心とした体力づくりイベント、縦割り班活動の充実を図り、体力アップを図る。

学校関係者評価

○各学級で、電子黒板やタブレットを使った授業が展開されており、子どもたちもとてもよく使いこなしており、とても意欲的に取り組んでいてよかった。先生方もとてもよく活用されていた。

○各学年学級ともに非常に落ち着いた生活態度であり、気持ちのよい挨拶をしてくれる児童が多い。挨拶は基本であるから、これからもこころがけてほしい。

○学校教育目標に掲げられている『ありがとう』を伝え合う人づくり 『ありがとう』が響き合う学校づくりにむけて、運動会や学習発表会、ふれあい給食会など様々な機会にその確かな取組の様子がうかがえた。教職員、児童から、たくさんの「ありがとう」の言葉が聞かれた。これからも感謝の気持ちを大切にしていってほしい。

○様々な家庭環境にある児童が増えている。登校中の表情や挨拶の際の声の様子等から気になる児童がいる。学校、家庭、地域が連携を密にし、子どもたちを地域全体で見守っていききたい。

○運動会では、暑い中で子どもたちも先生たちもとても頑張っている姿がとてもよかった。競技途中には、子ども同士の助け合う姿が見られ、とてもうれしかった。これからも思いやりの心のある子どもたちの育成を大切にしていってほしい。

○登下校や長期休業日等の児童の防犯・交通安全については地域と一体になり進めていきたい。

○地域の行事等に子どもだけでなく、教職員もたくさん参加してくれている。これからも学校と地域のつながりを大切にしてほしい。